What we found and learned at MD Anderson Cancer Center

Multidisciplinary Approach

Team 2006



Making Cancer History®

Team 2006

【医師】

中嶋早苗(村上記念病院外科)

村上 茂 (広島大学原爆放射線医科学研究所腫瘍外科)

【薬剤師】

磯 朝枝 (栃木県立がんセンター薬剤部)

佐藤 由美子 (名古屋市立城北病院薬剤部)

【看護師】

高木(名和)万利子 (聖路加国際病院外科外来)

古屋 由加 (広島大学病院臨床試験部)

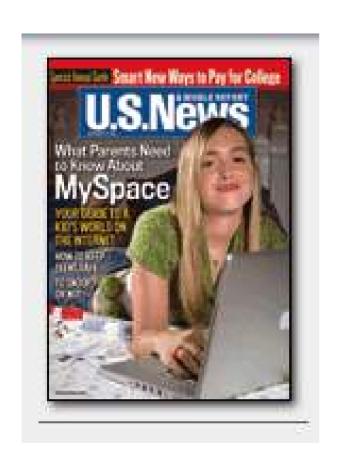


内容

- 1 MDACCの概要
- 2 研修内容
- 3 まとめ~感想

What is MD Anderson Cancer Center?

One of the best special cancer hospitals in the world



http://www.usnews.com/



Which is MDACC?









All of them are MDACC!

Alkek Clinic



CPB



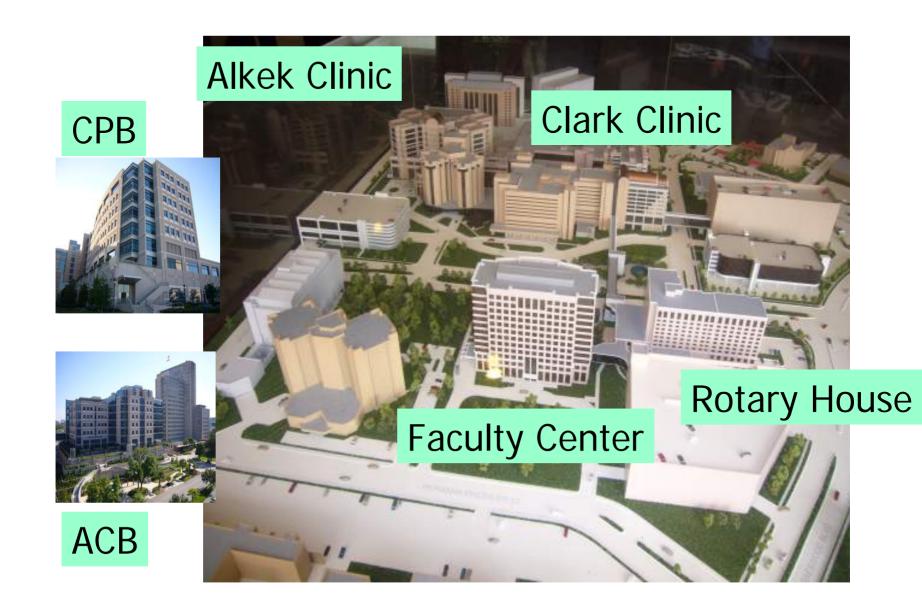
Clark Clinic



ACB



MD Anderson Cancer Center



Skywalk







MDACC Breast Center



MDACC Breast Center



ACB 4th floor

- 1. Breast Medical Oncology
- 2. Surgical Oncology
- 3. Radiation Oncology
- 4. Breast Imaging
- 5. Prevention
- 6. Genetic Consultation
- 7. Plastic Surgery

薬剤部内部門

- 入院調剤
- 外来調剤
- 従業員教育
- レジデント教育
- 配合変化
- 前臨床試験
- 外来点滴センター
- 臨床
- 薬剤経済学

薬剤部 400人

研究科学

調剤専門員



臨床薬剤師

薬剤師



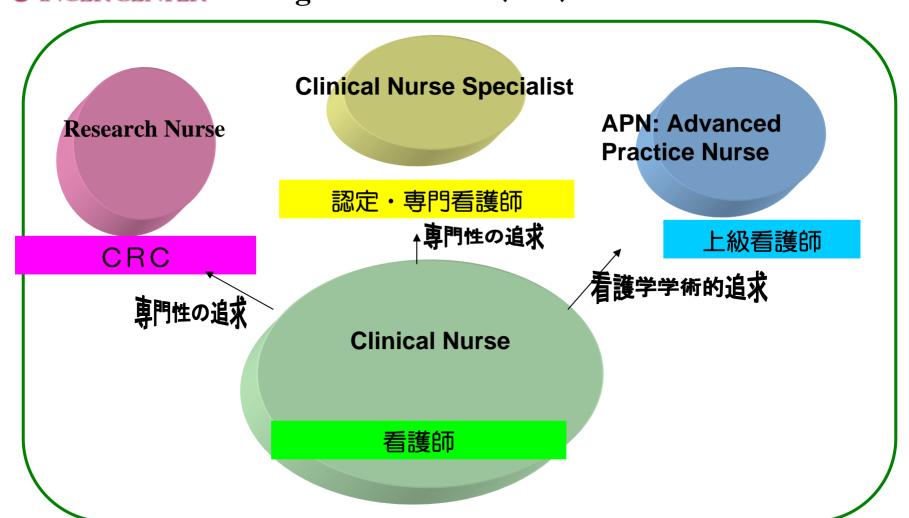




看護師部門



Registered Nurse(RN)



看護師部門:Clinical Nurse





①病棟



②外来点滴センター

③外来

看護師部門:CNS&APN



1APN



②WOCナース



3APN

研修内容

• 見学

• 講義

• 発表

カリキュラム

第1週:オリエンテーション

第2週:外科・病理

第3週:放射線治療

第4週:腫瘍内科

第5週:外科

第6週:腫瘍内科

第7週:看護部

第8週:薬剤部

看護師・薬剤師 合流

JAPANESE MEDICAL EXCHANGE PROGRAM - 2006 WEEKLY SCHEDULE

WEEK# 1 DATE: APRIL 03 - 07, 2006

.NAME: TRAINING WEEK

Your Contact Person this Week:

Name: Wendeline Jongenburger / Angie Hill-

Pager: (713) 404-4079 (713) 404-4014

Phone: (713) 563-8880 (713) 563-8881

□ (713) 563-8881 (713) 563-8881

MONDAY-03↓ (DAYLIGHT SAVING TIME BEGINS ON APR-02)↓	TUESDAY-04₽	WEDNESDAY-05₽	THURSDAY-06₽	FRIDAY-07₽
-Angie Hill will pick you up at 7:30 am at Residence Inn Reception. ← Cel. (713) 502-4341 ← ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	8:00. — 3:00 pm↔ New Employee Orientation↔ Location: SBC Auditorium B2.4750↔ ↔	7:30 − 9:00 am Welcome Breakfast with Steering Committee Location: Rotary House Restaurant	8:00 – 12:30 pm↔ Breast Cancer Risk Management and Genetic Counseling Clinic Observation with Dr. Banu Arun. Pager (713) 404-7289↔ Go to CPB-5 th floor, Front Desk of Breast Center and ask Receptionist to call or page Dr. Arun↔	8:00 am to 9:00 am ₽ Presentation: "Breast Cancer Risk Management and Genetic Counseling" with Dr. Banu Arun ₽ Location: CPB5.3548₽
		9:00 – 11:00 am↵ MDACC Extensive Tour↵ by Public Education ↵ Meet @ Rotary House Restaurant↩		10:30 – 11:30 am↔ Health Information Management Presentation ↔ by Carol F. Smith↔ Location: ACB1.2325-A↔
			12:30 – 1:30. LUNCH / BREAK∉	12:00 – 1:30 pm↔ Lunch / Meeting ↔ Cultural Presentation ↔ by Dr. Naoto Ueno↔ Location: Faculty Dining Room on R11↔
		11:30 – 12:30 pm√ TMC Tour ← by Tracy Murley ← Pick-up at Alkek Entrance. ← Wait for vehicle outside sliding doors. ←	1:30 – 2:30 pm d Presentation: "Financial Support and Philanthropic Activity at MDACC" by Michael Frick – Development Office. d Location: ACB1.2325-Ad	
	3:00 – 5:00 pm↔ Technical Orientation (E-Mail, Computers, Faculty Dining, Work Area, Etc.)↔ Angie Hill & Vicky Dillon↔ Meet at Faculty Center, outside revolving doors. Take Rotary House Bridge.↔ (Angie's cell 713-502-4341)↔	12:30 – 1:30 . LUNCH / BREAK.	2:30 – 3:30 pm& Presentation: "Risk Management and Legal Issues" by Ava Plummer& Location: ACB1.2325-A& 3:30 – 5:00 pm& Library Time&	2:00 – 3:00 ↔ Presentation with Dr. Robert F. Gagel – "Role of Internal Medicine in Multidisciplinary Care in Oncology" ↔ Location: ACB1.2325-A ↔
		1:30 − 3:00 pm ↔ Library Time ↔		
		3:00 – 5:00 pm↔ Introduction to Clinic Station by Dr. Barry Feig↔ Location: ACB8.1281↔		3:30 – 4:30 ← Institutional Review Board Presentation by Dr. Richard Theriault ← Location: ACB1.2325-A ←

見学

- 外来診療(乳腺・消化器・脳神経外科)
- 外来点滴治療室
- 病棟回診(乳腺・骨髄移植)
- リハビリテーション室
- 患者図書室
- Place ...of Wellness
- ・ホスピスなど

チームでの診療

- 医師、上級看護師(APN)、臨床薬剤師 (PhD)によるチーム診療が外来・入院で行われている
- 上級看護師、臨床薬剤師に処方権や検査の オーダーなどを出す権利が与えられており、 チーム全体で協力して診療にあたっている
 - 医師の負担を減らしてより良い治療を開発して もらう時間をつくる
 - チェック機構を働かせる
 - その場で意見交換できるため無駄な時間を 減らせる

外来診療



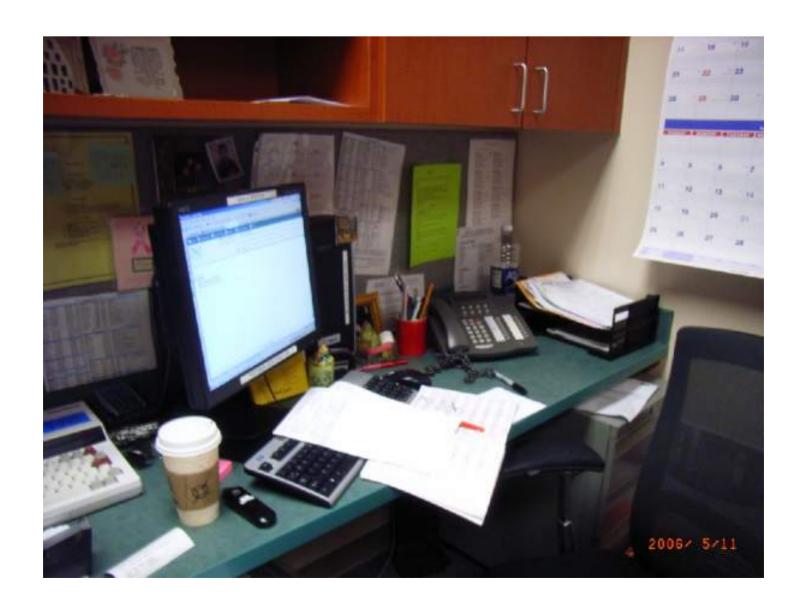
Dr.Tの外来オフィス



Dr.Tの外来オフィス



Dr.Tの外来オフィス



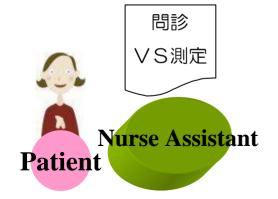
外来診察室



外来診療でのチーム医療の 流れ

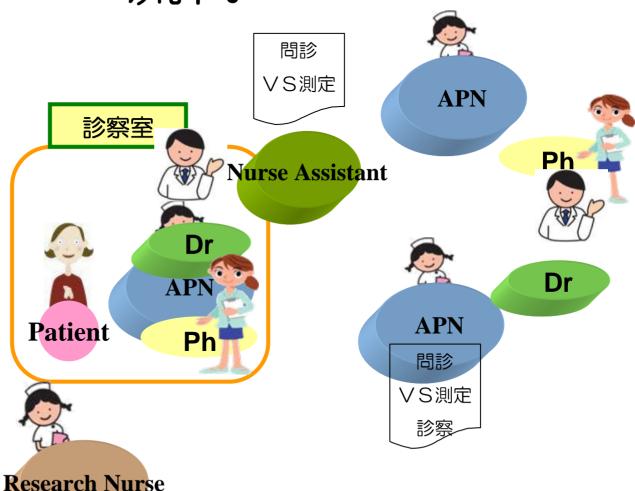
臨床試験

外来診療





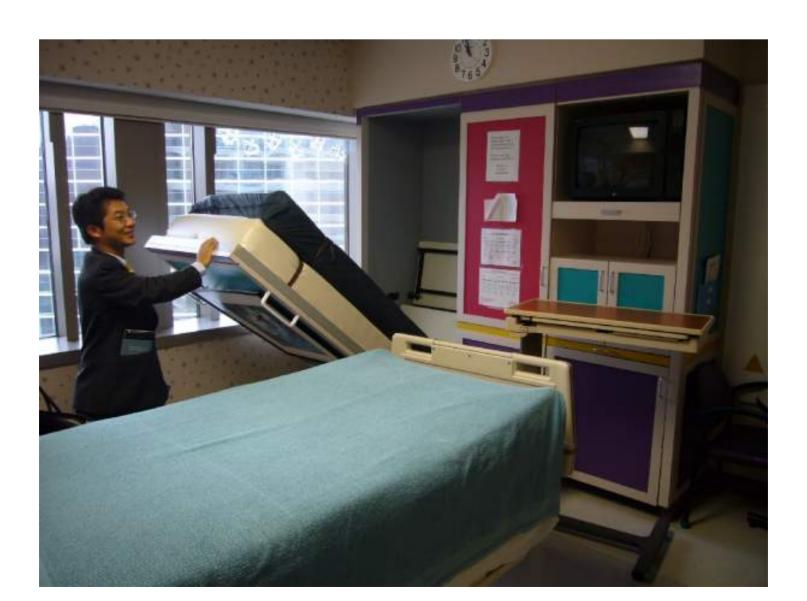
検査案内・スケジュール管理



入院診療



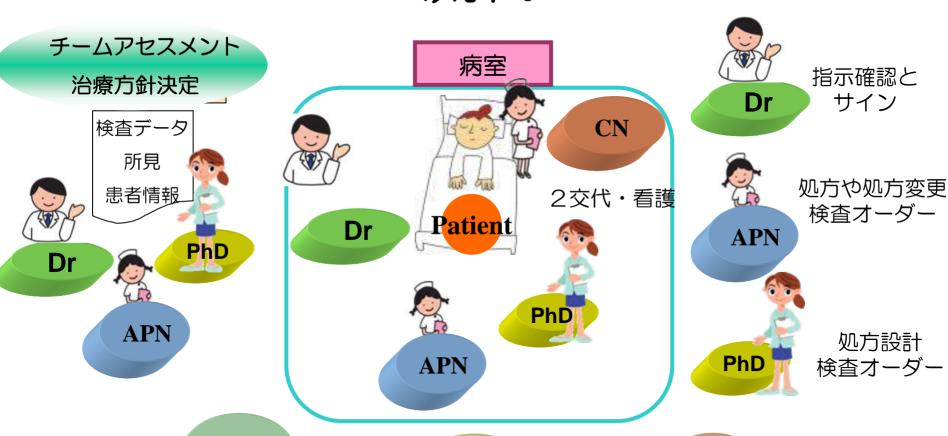
全室個室、バストイレ付の病室



チーム回診の様子



入院診療でのチーム医療の流れ



Patient Service

検査への搬送・配膳・下膳

カルテ入力事務

処方やオーダーの電子化

ケースワーカー

福祉サービス手配等退院準備

患者図書室





がんについて、 一般的治療について、 最新の治療について、 治療中の生活について などあらゆる情報が 集められている

Place...of Wellness





- ボランティアにより運営 されている、 よりよい治療生活を 送るための施設
- 休養するための個室、 宗派を問わない教会、 その他料理教室や ヨガのクラス、 マッサージや鍼の施術 も受けられる

Place...of Wellness-2





• 料理教室の部屋、ヨガや太極拳などの大部屋

講義

- 新入職員オリエンテーション
- 薬剤部業務全般
- 看護部業務全般
- 緩和ケア治療
- 臨床倫理
- 代替医療

Clinical Ethics Presentation By Dr. Martin L. Smith

- Clinical Ethics Service
 - 業務内容
 - 臨床倫理について相談を受け回答
 - 難しい問題は委員会で議論
 - 従業員教育:正しい倫理観について
 - -構成員
 - 医師・看護師・倫理学者など
 - 委員会には必要と考えられる全ての専門家を招集する

Case Study

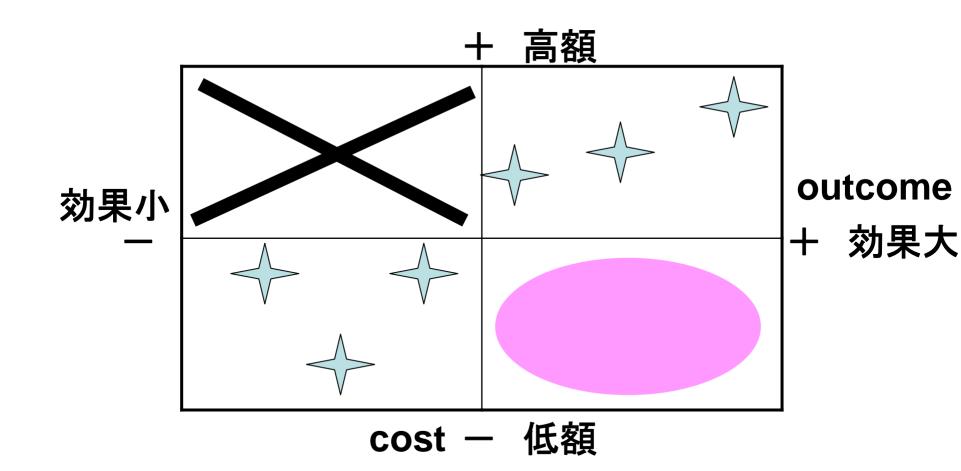
- 27歳女性
- 急性骨髄性白血病
- 治癒可能
 - -抗がん剤
 - -骨髄移植

問題点

- ・ダウン症
- ・知的レベルは2~4歳程度
- ・家族はエホバの証人

治療は行うべきか?

Pharmaceutical Policy and Outcome Research



Pharmacoeconomics

指標	治療A	治療B
Cost to Treat	\$1,000	\$1,500
Effectiveness	12 months	18 months
QOL	8.0	0.5
Outcome(E×Q)	9.6	9.0
Cost Utility		
(Cost to Treat / Outcome)	\$104	\$166

発表~Case Presentation



- 医師・看護師・薬剤 師の3人1チーム
- 研修中気になった症 例について自分たち ならどうアプローチ するか
- 30分

ねえ、みんな! どんなことを感じた?学んだ?考えた?

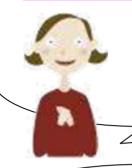
印象的だった倫理学、医療経済の講義
『Do the right things!』
日本人が大切だと認識していても
最近おろそかになっている問題。
レベルアップには研修と教育!
それを行うマンパワーも必要!



MDACCのみんなが頑張っているのは『Do the right thing』のため。 患者さんのために、みんな目的意識を一つにしている。 どんな仕事にもプロ意識、責任感を持ち、 モチベーションを高めてやっているんだと感じた!



チーム医療って、単なる役割分担ではない。 患者も含めたチーム内での合意と納得のある医療。 前向きに治療を行う上で重要なんだって思った。



ここは日本も負けてない!って所もある。 患者さんへのケアは日本だって負けてない!

MDACCでも、すべてのがんが治せるわけではない。 だからこそお互いに理解し、納得し、信頼しあって 治療ができる体制作りと、より良い状態を目指して 真剣に取り組むこと。これが私の感じた最高のチーム医療だった! 病院という、組織が動く基盤作り。 治療のスタンダードや統一されたコンセントフォーム、 説明文やスタッフへの教育など、いつでも誰でも利用できる ように、チームのみんなが作り上げたもの。 この地道な努力がチーム医療。



日本の患者は医療者側に対する依存度が高い。 患者中心と患者主体は違う。患者もチームプレイヤー。 私達と共に闘病していく役割を与えるアプローチが必要。 医師・薬剤師・看護師 との 役割が重なってこそ分担。 でも、分担しなくてもいいものもある。協働することは、ケアの充実、 治療または医療サービス(Option) の多様性。



Doctor

以上、

2006年のメンバーが

学んだチーム医療でした!

ところで・・・・皆さん、 このスライド、まとまっていますか?













医師・薬剤師・看護師というチームで参加したのに 職種が違うと、研修参加の目的や学びも それぞれ違いますよね・・・・・

というか、同じ「学び・意見・感想」として、 まとまるわけがない!!

『みんな違って、みんないい』



金子みすず

だからこそ、

- ・相手と話すこと 理解すること
 - 自分との違いを受け入れること
- ・自分の意見や思いを冷静に自分の言葉で伝えること・・・・
- ・自分の仕事に誇りと自信を持ち、

最初の一人として行動を起こす勇気を持つこと・・・

をメンバーとの研修を通して学んだ。

『みんな違って、みんないい』



だからこそ・・・

例年だと、 Communication Communication Communication

ですが・・・

今年は
Communicate
Recognize
Respect

でしょうか?

地道に、当たり前に、 お(おはよう) あ(ありがとう) し(失礼します) す(すみません)

Doctor

から始めよう!

Pharmacist

何でもいい。 最初の一人になる勇気を持とう!

小さなことでも、患者さんのために、不断の努力。切磋琢磨と自己研鑽!

Nurse

私たちがMDACCで、見て、聴いて、触れて、学んだこと・感じたことは

『みんな違って みんないい』

だから、

どれから始めても、

We 『Do the right things!』 だと、私達は考えます。

ご静聴ありがとうございました



M.D.Anderson Cancer Center で研修する機会を 与えてくださいました皆様に心より感謝申し上げます